

個別機能訓練・リハマネ加算への効果的な取り組みにつながる

# デイがすべき本来の役割と「活動」と「参加」充実化セミナー

自立支援ケアを実現する抜本対策！

自立支援を目指す目標設定とプログラムを生み出し本物のデイになる！

デイの機能として地域のハブ機能が求められています。身体機能を中心とした機能訓練だけに目を向けるのではなく「活動」と「参加」にアプローチし、高齢者が地域で生活を続けるための社会的自立支援に目を向ける、デイ本来の役割と機能を果たすためには何をすべきなのか。独自の自立支援アウトカムスケール「SIOS」を活用し、ご利用者の自律と社会資源の活用、スタッフの専門性を高める取り組みを行う「風の風グループ」の実践事例と共に学びます。

<b>日時</b> 2019年 <b>3月2日(土)</b> 10:00 15:00	<b>大阪会場</b>	<b>日時</b> 2019年 <b>4月27日(土)</b> 10:00 15:00	<b>東京会場</b>	<b>日時</b> 2019年 <b>5月11日(土)</b> 10:00 15:00	<b>福岡会場</b>
<b>会場</b> 大阪私学会館 (大阪府大阪市都島区網島町6-20)		<b>会場</b> 国際ファッションセンター (JR中央・総武線「両国駅」東口より徒歩6分)		<b>会場</b> リファレンス駅東ビル貸会議室 (福岡市博多区博多駅東1-16-14 リファレンス駅東ビル)	
<b>参加費</b> 12,000円(税・資料代込)		<b>参加費</b> 12,000円(税・資料代込)		<b>参加費</b> 12,000円(税・資料代込)	

## 内容

※内容は変更になる場合がありますことをご了承ください

### 身体機能・生活機能を評価し考え行動できるスタッフになる

- ・介護サービスが目指すべき自立支援とは
- ・身体的自立支援に偏っているだけでは、高齢者のQOLは維持できない
- ・ICFの生活機能分類の活用で多岐にわたる高齢者の「活動」と「参加」を網羅
- ・これまでになかった「社会的自立を支援する介護サービス」の運営手法
- ・デイにおける適切な自立支援ケア
- ・スタッフはご利用者の何を指して「サービス計画」を立案するか
- ・他事業所との「差別化」をはるかに凌駕する本質的な自立支援ケアの実践
- ・目標に働きかける「目的別グループ」の実践
- ・高齢者本人の意思に基づいた地域社会の様々な活動への参加を誘導するケア
- ・自立支援ケアの志向は「チームの活性化→スタッフの効力感向上→定着率アップ」につながる
- ・それぞれの職種が高い専門性を発揮するということ ほか



講師：小室 貴之 氏  
(在宅療養支援風の風グループ代表)

立教大学大学院修了。経営学修士(MBA)。民間企業、病院勤務。医療法人経営を経て、2001年にNPO風の風を設立後、グループ代表に就任。現在は、株式会社風の風にて訪問看護とデイを中心に在宅療養支援活動を展開している。2014年10月に政府ファントより直接出資を受け、国策として取り組む。業界誌・紙にて連載多数。経営の傍ら日本ホスピス・在宅ケア研究会理事、厚生労働省リハビリテーションと機能訓練の機能分化とその在り方に関する調査研究委員会委員などを務める。

## デイがすべき本来の役割と「活動」と「参加」充実化セミナー 参加申し込み書

FAX 084-948-0641

ご希望の日程に○をしてください		3/2(土) 大阪会場	4/27(土) 東京会場	5/11(土) 福岡会場
ふりがな		連絡先 (自宅勤務先)	TEL	
氏名			FAX	
住所 (自宅・勤務先)			携帯	
勤務先			メール (必須)	
			職種	

※上記個人情報は、本研修会の管理・運営またはその他研修のご案内にのみ使用します。 ※いただいた個人情報は当会の「プライバシー・ポリシー」に従い適切に管理いたします。 ※お申込み後1週間経過しても、入金のご案内が届かない場合はお手数ですが事務局までご連絡ください。

お問合せ  
〒721-0902  
広島県福山市春日町浦上1205(株)QOLサービス内

日本通所ケア研究会事務局  
共催：NPO法人日本介護福祉教育研修機構

TEL 084-971-6686  
FAX 084-948-0641



ホームページ [https://tsuusho.com/active\\_participation](https://tsuusho.com/active_participation) メール [info@tsuusho.com](mailto:info@tsuusho.com)